

充電完了! ^{ちから}力が^{みなぎ}漲る50歳 ^{ひろ}いがらし^{ふみ}博文



富里市への溢れる情熱を持ち続け、誰よりも、市民の思いを感じ取れるいがらし博文。だからこそ、市民にいがらし博文を信じ期待する勇気があるならば、必ず富里市を「自立と成長」に導いてくれるはず。富里市のために身を粉にする覚悟で決意するいがらし博文に、多くの皆様のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

いがらし博文後援会

いがらし博文 ^{ひろ} ^{ふみ} 5つの原点

富里市への情熱

いがらし博文は、昭和54年から平成19年までに、村から町へ、そして市へと変貌の時代を富里市の職員として経験してきました。その間には、農業関係を皮切りに、道路、税、都市計画、区画整理等さまざまな部署で活躍をし、特に、国道409号4車線化やインター周辺の再開発等、富里の成長に大きく寄与しております。

行政で培った経験と、生涯をかけ、まちづくりに携わりたいとの思いがあるからこそ、「いがらし博文」は富里市の成長に情熱を注ぐことが出来るのです。

多くの市民に実感

「いがらし博文」は、現在市民団体の一員として活動しています。富里市の成長を目指し、市内の野菜の普及活動による「地産地消」や、商店の活性化を目指す運動など、「土台の再構築が成長への鍵」と考えています。地場産業である農商工の底上げと、生活に直結する政策の充実を求め、そして、一方で未来に備えた投資をすることを基本理念としています。

身を削りまちのためにという姿勢をもつ「いがらし博文」だからこそ、活躍の場が広がることで、多くの市民に実感を与えることが、更に増え続けるのです。

効果ある実行力

退職後は、参議院議員全国比例区候補者秘書として、千葉県全域を駆け回り、各市町村を見続けてきました。その後、元衆議院議員実川幸夫氏の秘書となり、富里市担当として、市内の隅々まで歩いてきました。その結果、多くの市民と出会い、また、いろいろな角度から目にした地域の現状は、富里市を知り尽くす機会となったのです。すべての始まりは「市民との対話」「現場を目にする肌で感じる」そして、「知恵を絞り前進あるのみ」。「いがらし博文」は、誰よりも富里市を歩き、誰よりも各地域を知り尽くし、誰よりも市民の思いを強く感じることが出来るからこそ、効果ある実行力が発揮出来るのです。

ありがたい一言

「いがらし博文」は、これまでの道のりを振り返り、「自分を見失わずにここまでこれたのは、富里市が好きだから」との思いが強かったから。「富里市の為に働きたい。今自分にできることを精一杯したい」そして何よりも、市民から「ありがとう」と言われる一言が「最高の幸せを感じる時」。

だからこそ、「いがらし博文」は市民の期待を裏切らず、富里市を裏切らず、誠実に一生懸命汗をかき続けるのです。

揺るがぬ姿勢で前進

「いがらし博文」は甲子園を目指した元高校球児。そこで培った「根性・努力」「目標に向かい前進する精神」は30年経過した今でも生き続けています。だからこそ「いがらし博文」は、揺るがぬ姿勢で前進することに執着するのです。

いがらし博文 ^{ひろ} ^{ふみ} プロフィール

学 歴	昭和35年	富里村（現富里市）十倉（三区）に生まれる 富里南小学校・富里中学校に進み
	昭和54年	横芝敬愛高等学校卒業 硬式野球部在籍
	平成19年	日本大学法学部 政治経済学科入学
職 歴	昭和54年	富里村役場（現富里市役所）採用
	平成19年	富里市役所退職 28年勤務 参議院議員比例区候補者秘書
	平成20年	衆議院議員秘書

あなたも、いがらし博文後援会に入会され、一緒に私たちと富里市を盛り上げていきませんか。